



2026年12月期 第1四半期決算 決算説明会

2026年5月15日

ヤマハ発動機株式会社
(証券コード:7272)

世界耐久選手権第1戦「ル・マン24時間耐久レース」で昨年に続き開幕戦を勝利



2026年12月期 第1四半期決算

執行役員 橋本 満

業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

本日のポイント

2026年1Q実績

売上収益 7,301億円 (前年比 117%)、営業利益 626億円 (前年比 144%)

- MC事業を中心に各事業の出荷好調。販売台数増加により増収
- 米国関税や原材料価格上昇の影響を受けるも、販売増加と経費コントロールに加え、為替影響により増益
- 米国構造改革は計画通り進捗

今後の見通し

関税条件の変化はポジティブ。原材料価格の上昇などを踏まえ、見通しは維持

- 関税影響は計画比で減少を見込むも、原材料価格の上昇などにより見通しには不透明感が残る
- 原材料価格の上昇やレアアース、半導体不足に対し、代替品調達やコストダウンなどにより影響の最小化に取り組む
- 米国構造改革は引き続きスピード感を持って推進し、収益性向上を図る

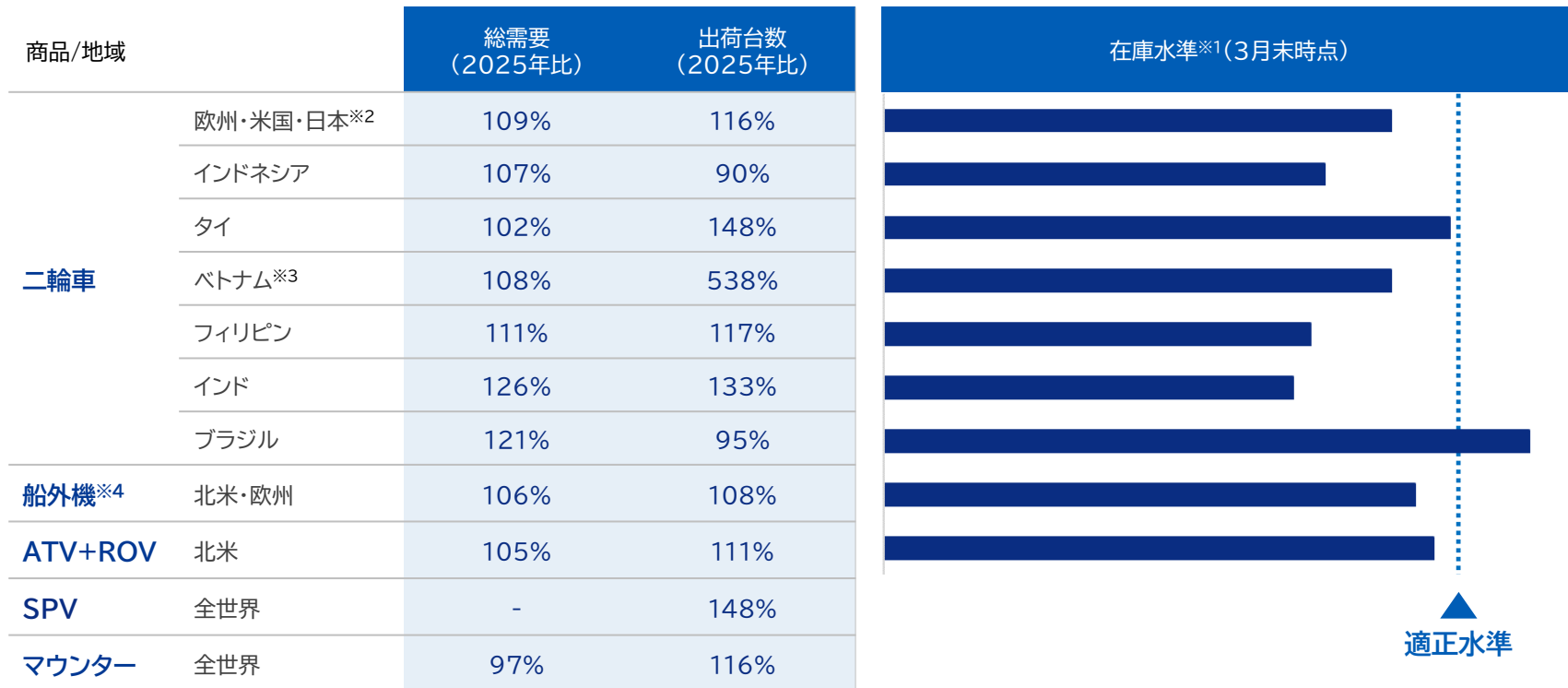
中東情勢

生産・調達への影響は機動的な対応によって抑制。現時点での影響は限定的

- サプライヤーとの連携および拠点間のアロケーション見直しにより材料を確保
- 機動的な対応により現時点での影響は限定的。業績への影響を注視しつつ、生産・調達の対策を継続

主要商品別 当社出荷台数・在庫（2026年1Q実績）

- アセアン、インドで出荷好調。ベトナムは販売が順調に回復。インドネシアの出荷は前年比で減少も、小売りは需要以上に増加
- 船外機は、北米、欧州で出荷が増加
- 小売り伸長により、在庫水準は低下傾向。販売好調な市場では、生産のキャッチアップを進める



※1:流通在庫(二輪車・ATV+ROVは見直し、船外機は過去実績) ※2:欧州は主要五カ国
 ※3:総需要はベトナム二輪車製造者協会(VAMM)加盟企業の合算 ※4:総需要、在庫水準は米国のみ

2026年1Q 経営状況

- 売上収益は各事業での販売増加により増収
- 営業利益は関税影響や原材料価格が上昇する中、販売増加と経費コントロール、為替影響によって増益

	2025年 1Q実績	2026年		2026年 通期予想
		1Q実績	前年比	
売上収益	6,259	7,301	117%	27,000
営業利益	436	626	144%	1,800
営業利益率	7.0%	8.6%	+1.6pts.	6.7%
当期利益※	307	413	135%	1,000
EPS(円)	31.47	42.52	135%	103.05
(\$/€)	153/161	157/184	—	155/175

※親会社の所有者に帰属する当期利益

2026年1Q 営業利益変動要因

- 関税影響を受けるも、販売台数増加、販売管理費の減少、為替影響により増益

(億円)



販売影響内訳				原価影響内訳		研究開発費用内訳		販管費内訳		その他内訳	
規模増減	+187	プライシング	+71	コストダウン	+43	人件費	+3	人件費	-18	持分法投資損益	+6
金融サービス	+29	その他	-47	コストアップ	-111	その他	+7	物流費	-4	その他	+12
								営業費用	+15		
								その他	+25		

事業別説明

2026年1Q 事業別 売上収益・営業利益

売上収益

(億円)	2025年	2026年	
	1Q実績	1Q実績	前年比
ランドモビリティ	3,881	4,799	124%
MC	3,786	4,683	124%
SPV	95	116	122%
マリン	1,402	1,486	106%
OLV	414	412	100%
ロボティクス*	238	263	110%
金融サービス	278	302	109%
その他*	47	39	82%
全社	6,259	7,301	117%

営業利益

(億円)	2025年	2026年	
	1Q実績	1Q実績	前年比
ランドモビリティ	278	490	176%
MC	290	502	173%
SPV	-12	-12	-
マリン	198	160	81%
OLV	-42	-78	-
ロボティクス*	-7	7	-
金融サービス	41	64	157%
その他*	-31	-16	-
全社	436	626	144%

期中平均為替レート(\$/€): 2025年 (153/161)、2026年 (157/184)

※2026年より、ロボティクス事業のUMS事業(ドローン・産業用無人ヘリコプター)はその他事業に移管しました。なお、過去実績についても遡及修正しています。

MC事業

実績

先進国・アセアン・インドでの販売台数増加により
増収・増益

営業利益率

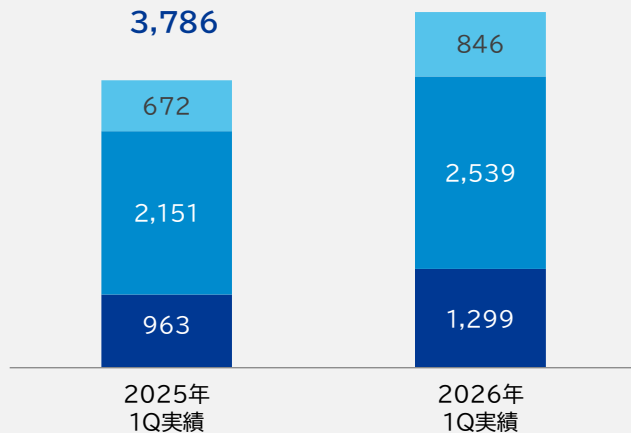
7.7%

10.7%

売上収益
(億円)

■ 先進国 ■ アジア ■ 中南米・その他

4,683



マリン事業

実績

船外機の販売台数増加により増収。研究開発費や
販管費は削減も、米国関税影響により減益

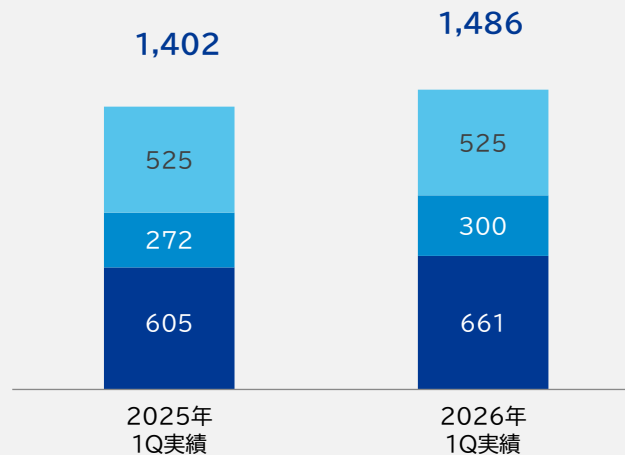
営業利益率

14.1%

10.7%

売上収益
(億円)

■ 船外機・北米欧州 ■ 船外機・その他 ■ WV・ボート等



原付二種ファッションスクーター「Fazzio」 国内向けに新発売

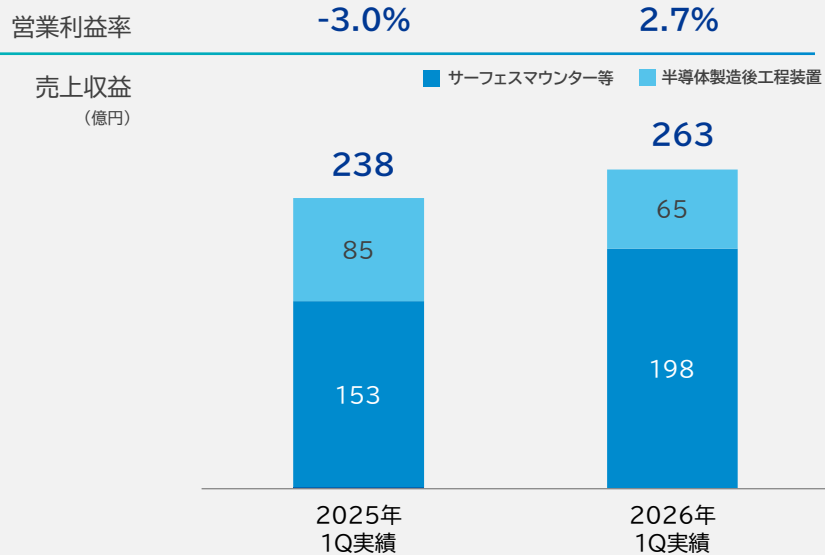


ロボティクス事業/金融サービス事業

ロボティクス事業

実績

サーフェスマウンターの販売台数増加により増収。
販売増加に加え、経費抑制により増益

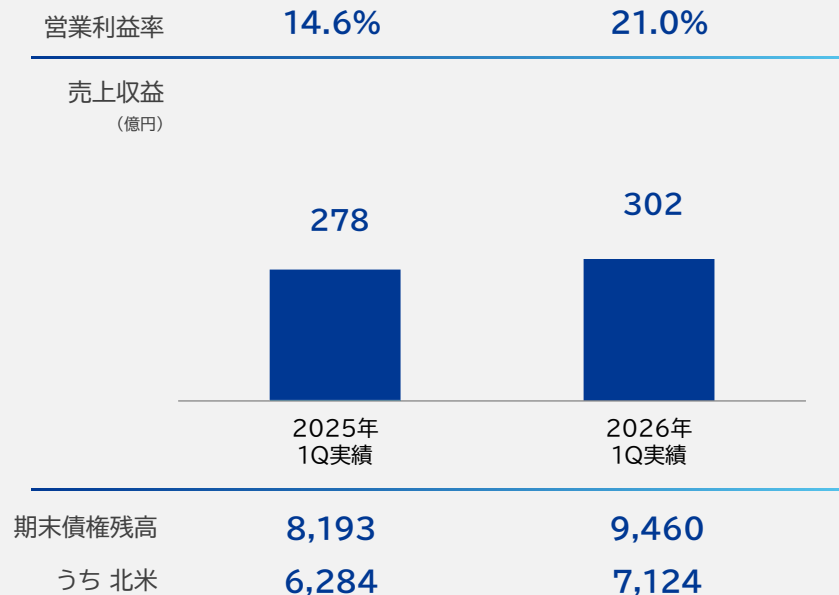


※2026年より、UMS事業(ドローン・産業用無人ヘリコプター)は、その他事業に移管しました。
なお、過去の実績は遡及修正後の数値を記載しています。

金融サービス事業

実績

債権残高の増加により増収。昨年計上した金利スワップ
評価損の影響がなくなり増益



SPV事業/OLV事業

SPV事業

実績

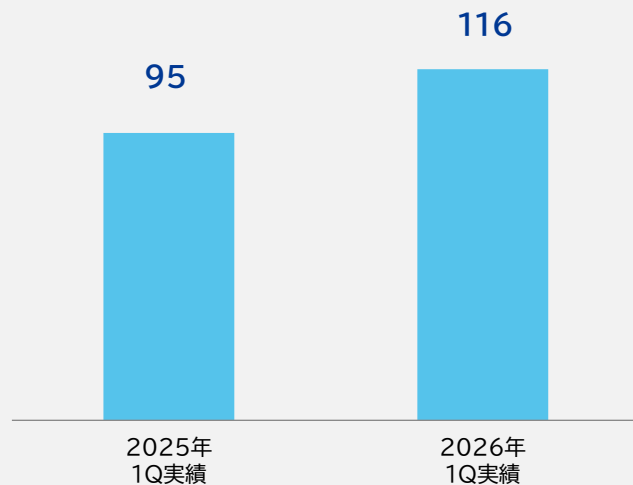
研究開発費等が増加するも、e-Kitの販売台数増加により損失は横ばい

営業利益率

-12.6%

-10.2%

売上収益
(億円)



OLV事業

実績

ROV、LSMの販売台数の減少、研究開発費の増加や関税影響により減益

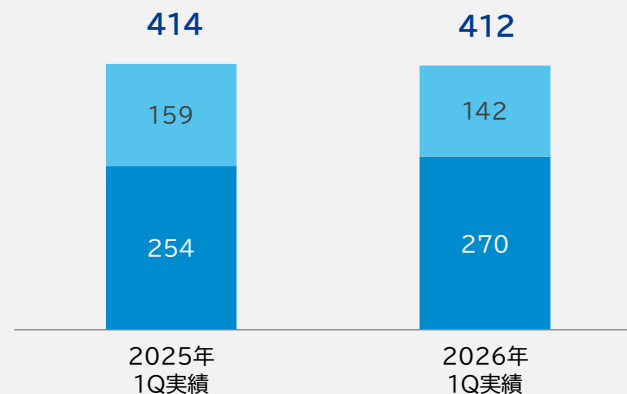
営業利益率
(うち RV)

-10.2%
(-18.4%)

-18.9%
(-19.5%)

売上収益
(億円)

■ RV ■ LSM





中東情勢の影響によるリスクと原材料価格の状況

- 中東情勢の影響は、機動的な対応により現時点では限定的
- 日々変化する状況に対し、業績への影響を注視しつつ、柔軟な対応を継続する
- 中東情勢の影響によるリスクと、各種原材料価格の市況は以下の通り

リスク

調達： ナフサ由来材・ガス・アルミ等の不足、原材料価格の上昇

生産： 原材料不足、エネルギー不足による生産停止

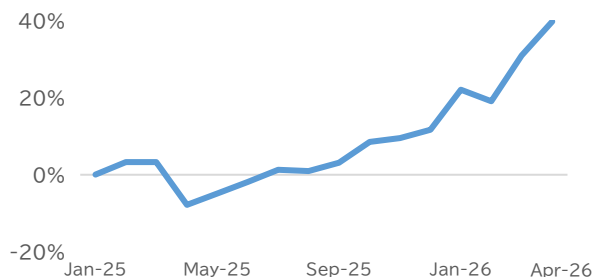
物流： 中東向け製品(MC、マリン)の出荷遅延、燃料価格高騰による海上運賃の上昇

原材料価格の推移

※2025年1月を基点とし、価格の増減率(%)を表記

アルミ【出所/World Bank】

需給ひっ迫により価格高騰。今後も上昇する見通し



樹脂(ナフサ)【出所/財務省貿易統計】

石油価格高騰により今後上昇する見通し



地域別販売台数・売上収益/営業利益変動要因

MC

販売台数

	2025年	2026年	
	(千台) 1Q実績	1Q実績	前年比
日本	19	16	85%
北米	26	34	131%
欧州	53	67	126%
アジア	901	1,068	119%
その他	170	178	104%
全社	1,171	1,364	117%

売上収益

	2025年	2026年	
	(億円) 1Q実績	1Q実績	前年比
日本	107	107	101%
北米	278	370	133%
欧州	532	764	144%
アジア	2,151	2,539	118%
その他	719	903	126%
全社	3,786	4,683	124%

営業利益変動要因



地域別販売台数・売上収益/営業利益変動要因

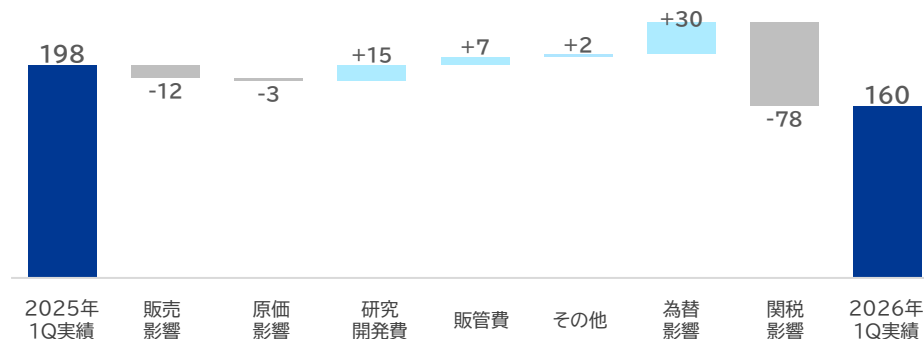
販売台数(船外機)

	2025年	2026年	
	(千台) 1Q実績	1Q実績	前年比
北米	24	25	107%
欧州	9	10	109%
その他	33	36	109%
全社	66	72	108%

売上収益

	2025年	2026年	
	(億円) 1Q実績	1Q実績	前年比
日本	92	82	90%
北米	809	862	107%
欧州	206	220	107%
アジア	98	116	118%
その他	198	206	104%
全社	1,402	1,486	106%

営業利益変動要因



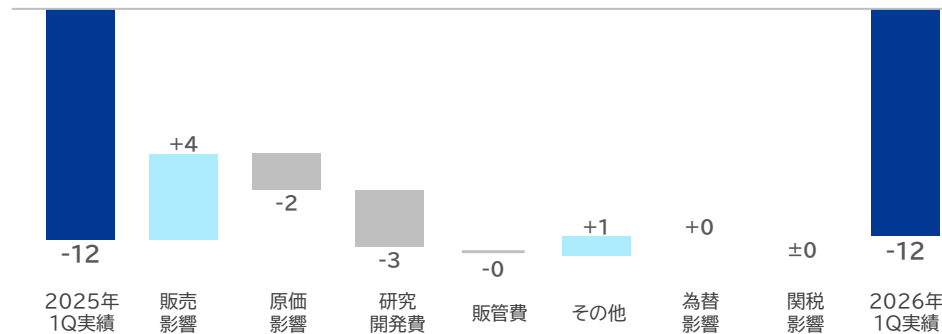
地域別売上収益/営業利益変動要因

SPV

売上収益

	2025年	2026年	
	(億円) 1Q実績	1Q実績	前年比
全社	95	116	122%

営業利益変動要因

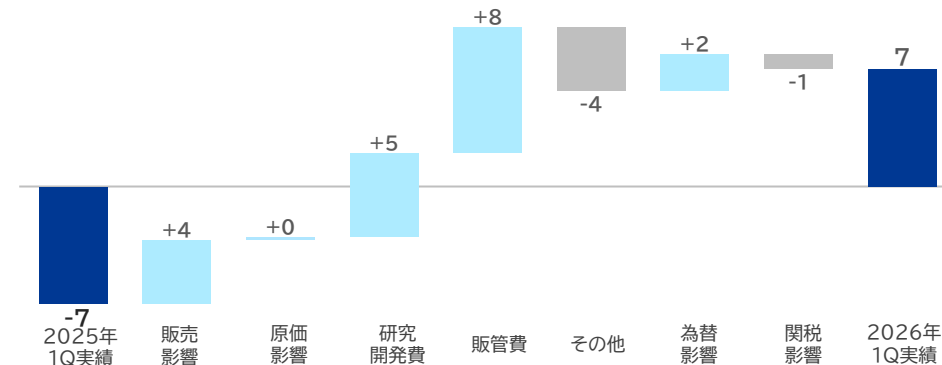


ロボティクス

売上収益

	2025年	2026年	
	(億円) 1Q実績	1Q実績	前年比
日本	49	57	115%
北米	6	12	204%
欧州	10	16	162%
アジア	172	177	103%
その他	1	1	90%
全社	238	263	110%

営業利益変動要因



※2026年より、UMS事業(ドローン・産業用無人ヘリコプター)は、その他事業に移管しました。
 なお、過去の実績は遡及修正後の数値を記載しています。

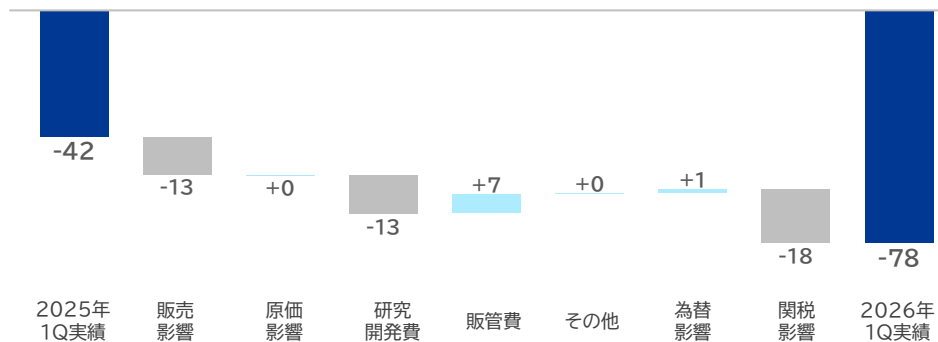
地域別売上収益/営業利益変動要因

OLV

売上収益

	(億円)	2025年	2026年	
		1Q実績	1Q実績	前年比
RV	北米	171	171	100%
	その他	83	98	118%
	計	254	270	106%
LSM	北米	106	101	96%
	その他	54	41	77%
	計	159	142	89%
全社		414	412	100%

営業利益変動要因



財務状況

(億円)	2025年 1Q実績	2026年 1Q実績
営業活動によるCF	-481	56
投資活動によるCF	-164	-347
フリーCF	-645	-291
財務活動によるCF	651	650
設備投資	218	302
減価償却費	213	231
研究開発支出	355	357

(億円)	2025年 12月末	2026年 3月末
現金及び現金同等物 期末残高	3,989	4,367
有利子負債※ 期末残高	10,443	11,818
ネットキャッシュ	-6,454	-7,451
ネットキャッシュ(金融サービス事業除く)	-590	-879

※有利子負債にはリース負債を含めておりません。

為替影響(対前年、年間予想)

(億円)	2026年1Q実績				2026年予想			
	US \$	EURO	その他	合計	US \$	EURO	その他	合計
粗利益にかかる為替影響(本社)	17	63	21	101	85	45	-19	112
粗利益の換算影響(海外子会社)	9	30	42	80	43	23	-39	28
販管費の換算影響	-8	-23	-31	-62	-38	-23	24	-37
その他の換算影響	-0	0	4	4	0	1	-0	0
営業利益への為替影響	17	70	36	123	90	46	-34	103

(億円)	US \$	EURO	US \$	EURO
為替感応度 1円の変動が営業利益に与える影響額		3		8

